

# コロナ禍における 生活実態アンケート調査報告



## 目次

- 1P アンケート調査に至った背景と目的  
調査の対象と方法
- 2P 保護者アンケート分析
- 7P 保護者向けアンケート自由記述一覧
- 24P 事業所向けアンケート分析
- 28P 事業所向けアンケート自由記述一覧
- 参考 配布チラシ(3枚)

2020年12月  
都筑区自立支援協議会 こども支援部会

## 《アンケート調査に至った背景と目的》

横浜市では、緊急事態宣言に伴い、2020年3月3日より新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、学校が休業となりました。一方で、社会福祉事業を行う施設においては、厚生労働省からの要請もあり、感染拡大防止に配慮した支援継続への道を、手探りで進む日々が始まりました。そして、学校が再開した後から今も、地域で暮らす子どもたちは、新たな日常を受け入れながら生活する日々を送っています。しかし、感染症の脅威は未だ衰えを見せてくれません。今後再び日常に大きな変化が訪れた時、私たち支援者は子どもとその家族へ、どのような支援をしていくべきなのでしょうか。

その答えを見つけるためには、このコロナ禍において、それぞれのご家庭で何が起こっていたのか、各事業所がどのような支援を行ってきたのかを、詳しく知る必要があります。そして今後の支援において、私たち支援者に何が出来るのか、必要なことは何か、を支援者同士で話し合う機会を設けようと考えました。今回の保護者の方々や事業所へのアンケート調査は、コロナ禍における生活の実態を捉えようとするものです。このコロナ時代をお子さんやそのご家族が少しでも安心して暮らしていくための支援を、調査結果をもとに検討していくことを目的としています。

## 《調査の対象と方法》

### ◇保護者向けアンケート調査

**対象：**主に都筑区、近隣区に住む特別支援学校、養護学校、個別支援級、通級指導教室、療育機関および福祉サービス等を利用されているお子さんをお持ちの保護者

**期間：**2020年 8 月 24 日(月)～9 月28日(月)

**方法：**都筑区自立支援協議会こども支援部会加盟機関のうち、放課後等デイサービス、児童発達支援事業所、特別支援学校、養護学校、個別支援級、相談機関等に配布し、保護者にチラシを渡してもらう。QRコードより、回答。

**協力機関への送付枚数：**1455枚

**回答数：**284件

### ◇事業所向けアンケート調査

**対象：**都筑区自立支援協議会に参加している機関（児発・放デイ・学校・相談機関等）

**期間：**2020年 8 月 24 日(月)～9 月4日(金)

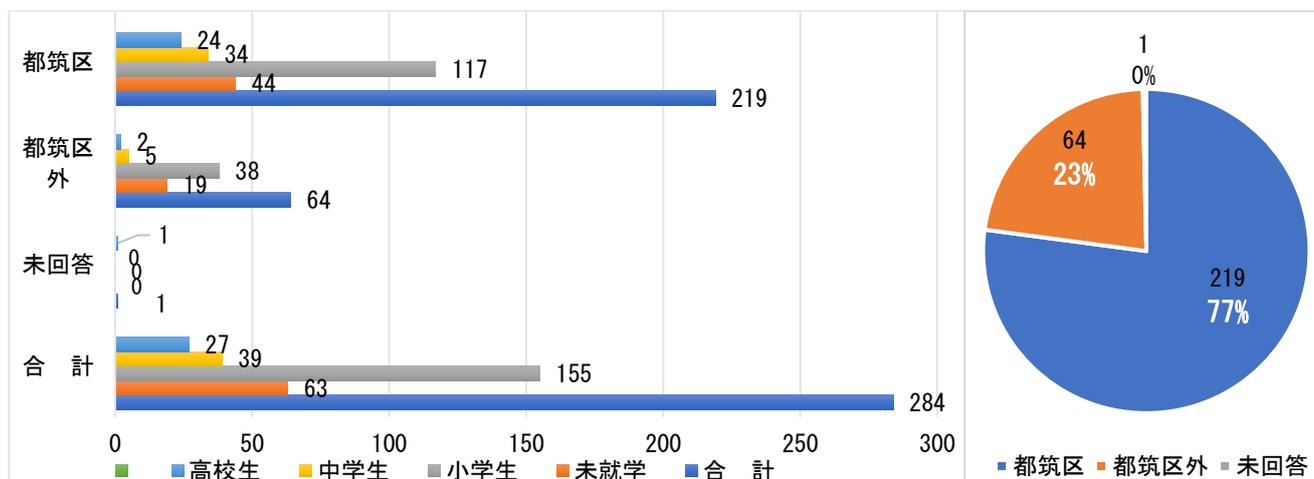
**方法：**各機関に送付。メールで周知。QRコードより、回答。

**協力機関への送付枚数：**91枚

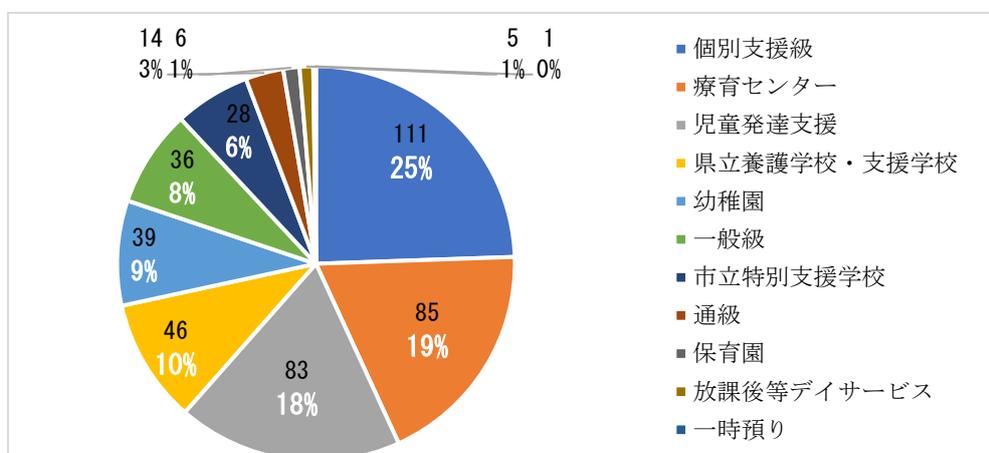
**回答数：**48件

# 《結果》 ◇保護者向けアンケート

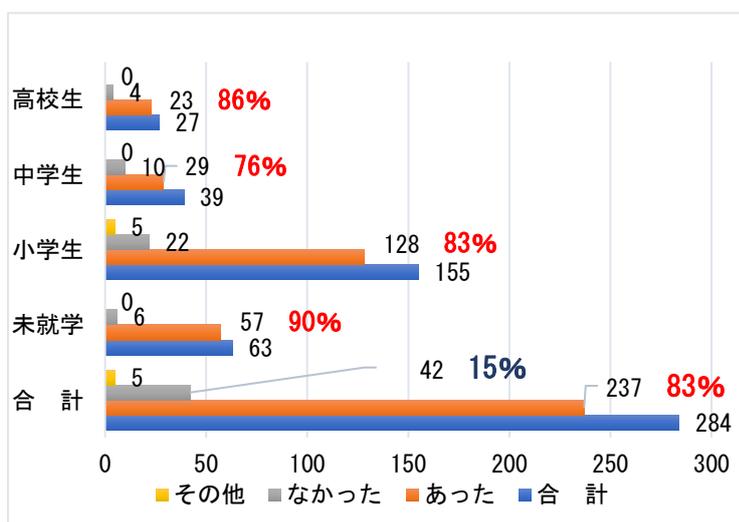
## 1. 居住地区とお子さんの年代



## 2. お子さんの利用・所属機関



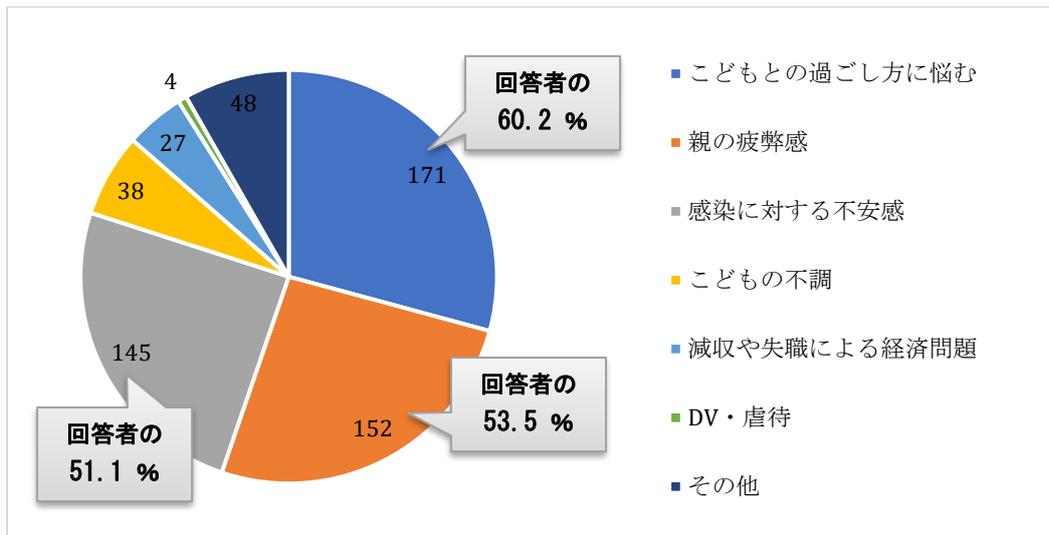
## 3. お子さんの年代別、困り感の有無



### その他

- ・ 顕著な困り感はなかったが、イレギュラーが学校再開後にどう出るのが常に不安だった
- ・ 出かけられない事が不便
- ・ 外で遊べ無くなったのでストレスが溜まった。(計3件)

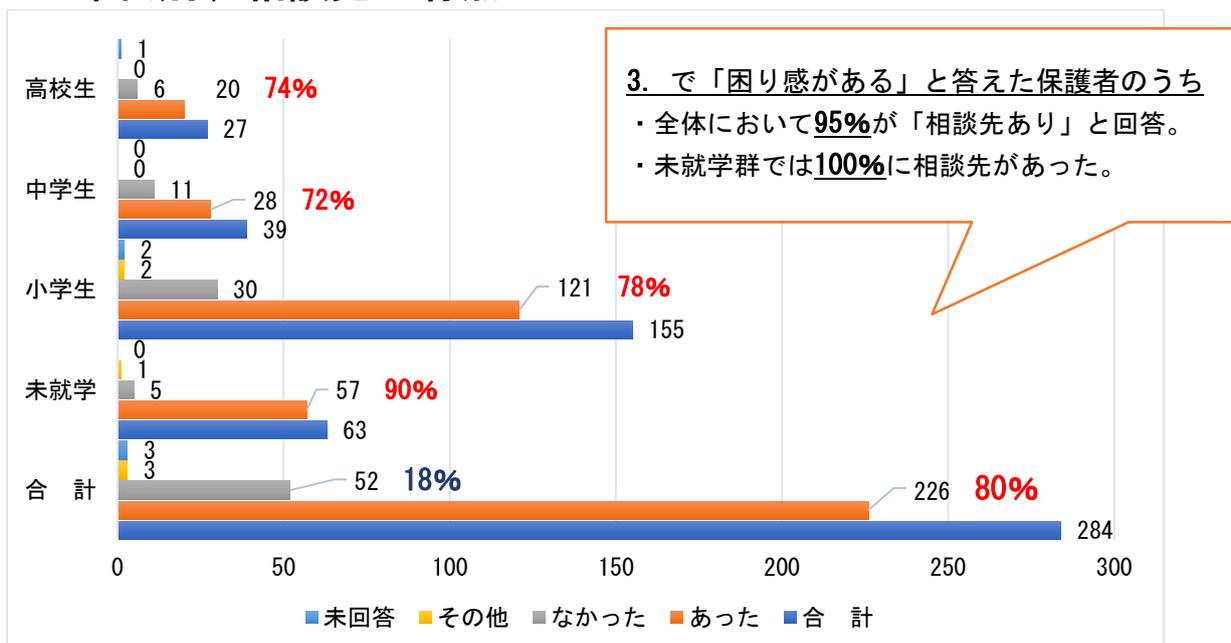
## 4. どのようなことで困ったか



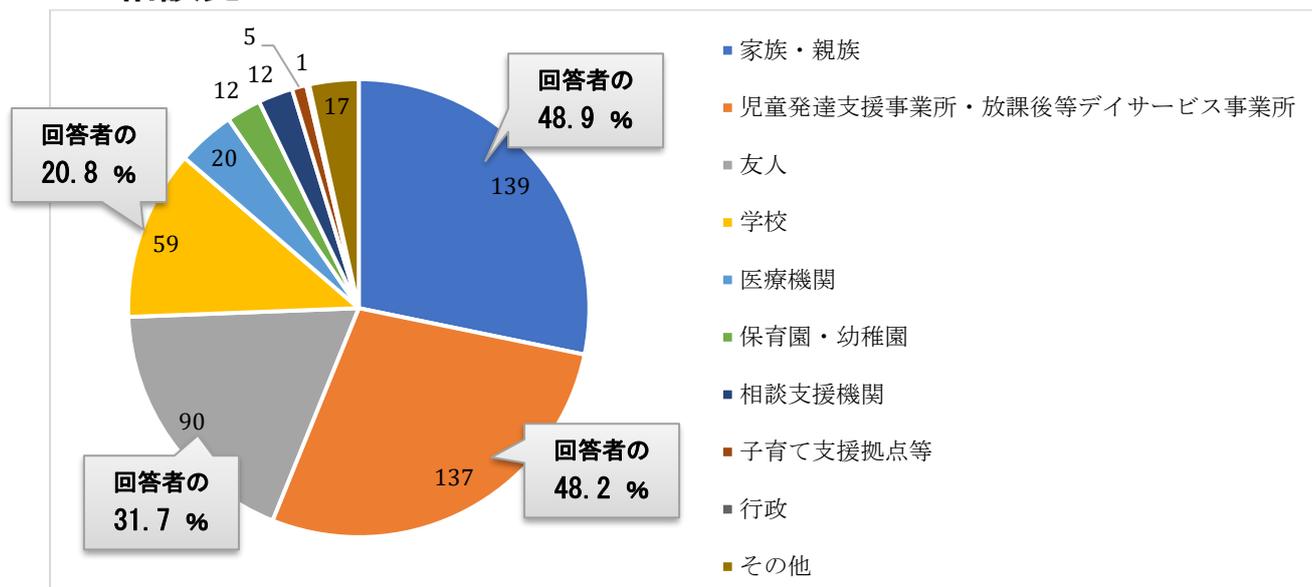
### その他

- ・きょうだい喧嘩 (計6件)
- ・きょうだい児への影響
- ・親が就業中に出歩いてしまう
- ・子供が精神的に不安定であった (計5件)
- ・運動不足 (計7件)
- ・不登校に戻らないか (計2件)
- ・実習先が見つからない
- ・マスクの着用
- ・療育ができない (計3件)
- ・生活リズム (睡眠・便通) の崩れ (計3件)
- ・学習について (計6件)
- ・親の介護に行きにくい、衛生用品等の物品不足が心配
- ・ガイドヘルパーを使えず、外出できない
- ・買い物
- ・子どもの預け先 (計3件)
- ・テレワーク中の子どもの騒音

## 5. 年代別、相談先の有無



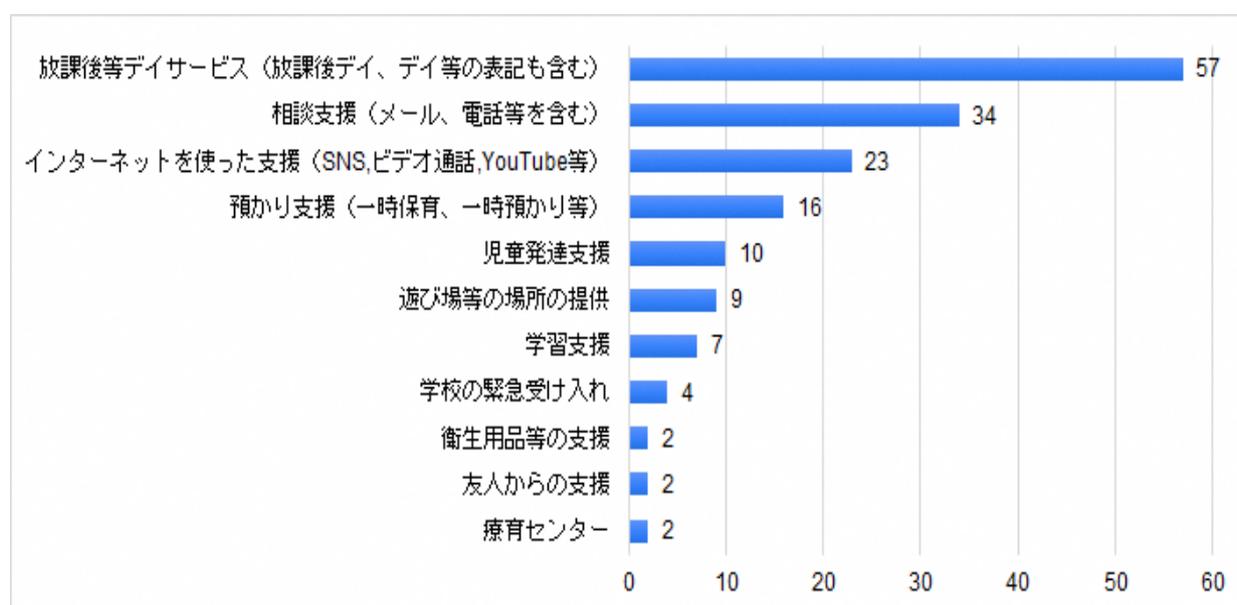
## 6. 相談先



### その他

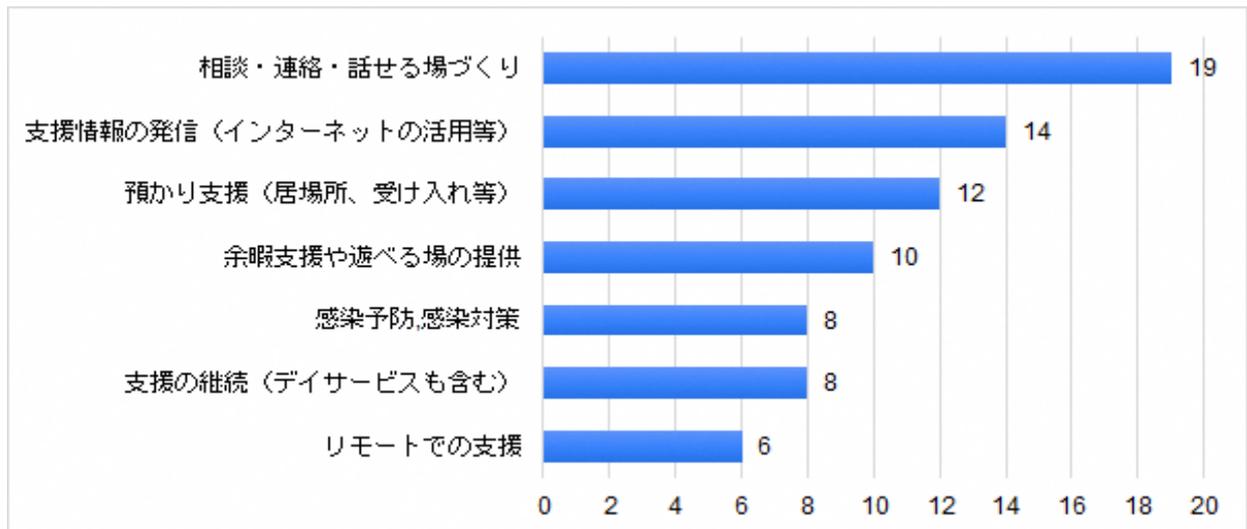
- ・職場の同僚
- ・習い事の先生
- ・音楽療育の先生
- ・卒園した幼稚園の先生
- ・学童
- ・一時保育さんぽ
- ・一時保育の先生
- ・グループホーム職員（計2件）
- ・地域訓練会の先生（計3件）
- ・民生委員
- ・訪問看護師
- ・くさぶえの基幹相談
- ・療育センター（計2件）

## 7. あってよかった支援



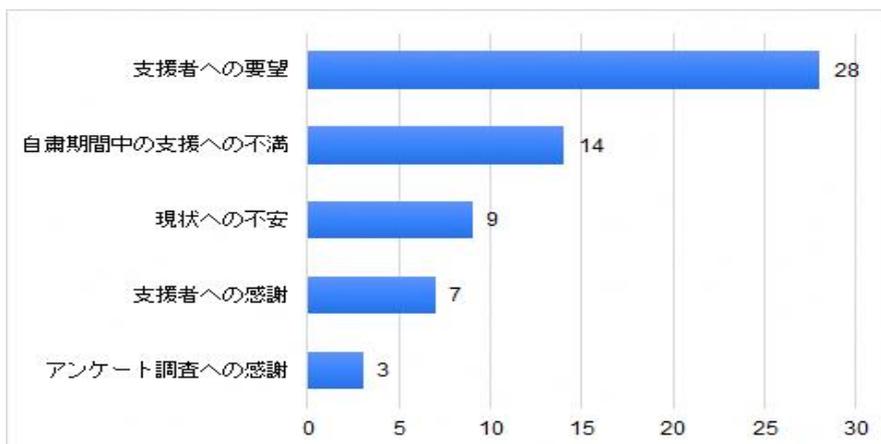
- ・自由記述有効回答数 161件
- ・重複している単語をもとに、数値化。「放課後等デイサービス」、「相談支援」、「インターネットを使った支援」の順に多かった。

## 8. 支援者・支援機関に希望すること



- ・自由記述有効回答数 96件
- ・重複している単語をもとに、数値化。
- ・「相談・連絡・話せる場づくり」、「支援情報の発信」、「預かり支援」の項目が多かった。次いで、「余暇支援」、「感染予防・対策」、「支援の継続」、「リモートでの支援」と続いた。

## 9. その他の意見



- ・自由記述有効回答数 57件
- ・内容から分類して数値化。

### 【意見】

- ・居場所の確保 ・情報交換システム ・悩みを聞いてもらえる場
- ・親の気持ちに寄り添った支援 ・インフルエンザワクチンの優先接種
- ・親が感染した場合の支援シミュレーション ・各家庭へのヘルパー派遣
- ・学習に対する保護者の負担軽減 ・感覚過敏でマスクができない子がいることの周知
- ・継続支援の重要性の周知 ・障害者手帳を持つ人、持たない人それぞれに対する支援策の検討

## 10. まとめ

- ・回答者の子どもの年代別では、小学生が過半数を占めていた。しかし、その他の年代の子どもを持つ保護者からも多数の回答を得られ、幅広い年代の子どもを持つ保護者からの意見を集めることができた。
- ・年代別困り感の有無では、いずれの年代も高い割合で困り感を抱えていたことが示されたが、未就学児を持つ保護者の割合が1番高く、中学生でやや下がり、高校生でまたやや上昇している。今回の報告では、どのようなことで困ったかの年代別の分析はないので、今後解析したい。
- ・年代別の相談先の有無では、未就学児を持つ保護者の9割が相談先があると答えている。他の年代も高い割合であったが、アンケートを支援機関から利用者へ直接依頼する形での配布が多くを占めたので、すでに何らかの支援機関とつながりのある保護者が多かったことが考えられる。
- ・相談先として、支援機関としては「児童発達支援・放課後等デイサービス」の割合が多く、身近な相談先としての存在感を示した。あって良かった支援としても、「放課後等デイサービス」が多数あげられている。
- ・支援者に期待することとして、「相談できる場」を求める声が多い。また、支援や生活に関わる情報の発信についても要望が高いことが分かった。

## ◇保護者向けアンケート自由記述一覧

### [7. あってよかった支援]

発達障害など、障害児向けの勉強プログラム(ビデオやワークなど??)
(幼稚園)zoomを使ったりリモートお遊び
1日家にいるのが難しい子なので、緊急事態宣言期間中も児童発達支援事業所が利用でき本当に助けられました。
SNSを活用して、家で遊びながらできる知育訓練や体力作りの方法など先生が発信してくださったりするとありがたいなと思いました。
ZOOMによるオンライン授業が良かった(民間の個別学習教室)・学校でもZOOMを使った授業をして欲しかった。
zoomを使った放課後デイサービスが助かった。
Zoom支援
アルコール綿など、衛生用品を支給して頂いて助かりました。感染が拡大中、どうしても処方箋をもらいに大学病院に行かないといけなかったが、本人が居なくても処方箋や物品を受け取れて良かった。電話やオンラインなどで、家族も病院に行かなくて済むようにこれからもして欲しい。
いざというときに泊まりで預かってくれるところ
いままで、相談してこなかった、基幹相談に、コロナ禍によって、相談するきっかけになった。私はたまたま、手帳の更新で区役所に行き、基幹相談を紹介されたが、基幹相談を知っていたのに、存在を忘れてしまっていた。 相談したいけど、どこにして良いのかわからない人に、認知が広がれば良いなと思います。
おもちゃ文庫などの障がい児向け、限定の遊び場を開放してほしい。
オンライン以外の学習支援(計2件)
オンライン学習はほんの少しありましたが、新鮮で楽しそうに取り組んでました。先生やデイサービスなどのスタッフさんともコミュニケーション取れると、休校解除になっても子供の不安は減りそうです。自宅で過ごせるおもちゃや教材、本、簡単にできるスポーツとか貸し出しがあったら良かったなあと思います。本当に退屈してました。
コロナでご家族もいて不安であったでしょうに、デイサービスをやってくださったこと。とても有り難かった。感謝しかない。
コロナ禍の中、子どもをどのように過ごさせればいいのか、またどの程度寛容にできるのかなど、子育て世代への情報発信とともに、多くの人に周知してもらおうことで、街中で冷たい視線は多少軽減されたのかもしれないと思いました。
デイサービス(計2件)

<p>デイサービスが、このような対策をします、と説明してくれた上で自粛せずに預かってくれたこと。本当に助かった。</p>
<p>デイサービスがリモートになり、感染リスクを減らせた。今後もリモートを導入して欲しい。(計2件)</p>
<p>デイサービスが利用できたことがとても助かりました。</p>
<p>デイサービスに自粛して行かなかった時、定期的に連絡があり、様子を聞いてくださったり等。わかってくれる方に話を聞いてもらえる、いざとなれば相談できる場所があると自分が常に把握できるのが良かったと思います。また通級先の学校からお電話で様子を聞かれ、アドバイスや励ましのお言葉に気持ちが救われました。</p>
<p>ビデオ教材、友人達や先生とビデオで話す機会があればよかった。</p>
<p>ヘルパー、訪問看護師</p>
<p>リモートでの学習支援やイベント</p>
<p>医療的ケア児宛てに、アルコール綿や消毒液の支援がありとても助かった。</p>
<p>一時保育</p>
<p>一時保育さんぽ、変わらず受け入れてくれていたので週一回半日、離れることができて助かった</p>
<p>運動できる場所の提供</p>
<p>映像を用いた配信授業、電話相談</p>
<p>家の中ばかりだと親も子供もストレスがたまりやすかったです。感染も心配ですが、例えば、学校や療育センター、地域の広場等で完全予約制で来所者を限定した過ごしの場合があれば良いなあと思いました。</p>
<p>家族以外の関わりがもてるところがあったらよかった。</p>
<p>外で自由に遊べる場所</p>
<p>外出が難しい中、放デイが利用できたことはとても助かった。</p>
<p>外出や散歩も難しかったので、本人にストレスが溜まり、家に居るのも困難になってきたので学校に相談したところ、学校にて数時間活動(預かり)することが出来て大変助かりました。 本人も広い空間で体を動かすことが出来たので、利用後はスッキリしていました。親もホッとしました。</p>
<p>学校から週1連絡あったのが助かりました。 相談支援機関等ともっと繋がっていた方がよかったと思いました。</p>
<p>学校が緊急預かりをしてくれたのが助かりました。 どこにも預けられないと買い物にも行けなくなるので、まとまった時間子供を預かっていただけるとは本当にありがたいです。</p>
<p>学校が紙の課題に加えて、Googleclassroomで課題を送ってくれた。動画なども送ってくれてそれを見ながら行う課題だった。生徒同士のやり取りもできて、休校中でも繋がってる感があり、良かった。</p>

学校とデイサービスに通わせて下さった 学校に隣接のキッズクラブの受け入れがなかった 今も利用できない。
学校と放課後デイサービスから定期的に電話いただき安心感に繋がった。
学校の緊急受け入れがあって助かりました。
学校の緊急預り、デイが休みにならなかったこと
学校の先生からの電話相談や宿題の受け取り時の会話など
学校は再開されなかったが、時々先生からの電話で、現状の生活を振り返ることで、少しストレスを解消。計画相談員の方との電話面談でも、少し不安を解消。
<p>学習サポートがあればよかった。</p> <p>一般級の子供さんでさえ、自宅で学習することは難しかったと聞いています。うちの子は行き詰ると、相手の都合を考えずに、すぐにやり方を聞いてきます。こちらの仕事の手が止まります。緊急受け入れに行っても、勉強を見てくれるわけではないので、家で学習を見なければなりません。仕事が進みません。イライラが募ります。平常時、平日放課後はキッズクラブ、週1回土曜日に放課後デイを利用しています。キッズで宿題をみてくれる時間はありません。キッズクラブに通っている平日は、時間をコントロールして自宅で宿題をみます（量もそんなに多くないので）。</p> <p>放課後デイでは見てもらえますが、放課後デイを利用するためには事前に利用日数を申請せねばなりません。急には増やせないのです。</p> <p>緊急受け入れで一律勉強は見ない、というのではなく、個別の生徒は、その特性を考慮して、学習サポートをしていただけたら、と思います。</p>
学習を基本とした発達支援放課後デイサービス（フレンズ中川）→一般の学習塾を断られた為
<p>感染した場合の対処法が詳しく分かれば良いと思いました。</p> <p>どのような症状の場合に病院に行って良いのか、PCR検査などはいつどの段階で可能なのか、感染後どこの病院に入院するのか、入院ではない場合どのホテル(施設)で経過を見るのか、親が感染し近くに親族がいない場合小さい子どもを預かってくれるサポートはあるのか、など。</p>
感染の不安はありましたが1ヶ月以上の在宅はさすがに本人、親ともに精神的にストレスを感じたので放課後デイサービスを2ヶ月目からは利用しました。短時間でもお互いがいい時間を過ごせたことが、残りの時間を穏やかに過ごすことに繋がり本当に助かりました。
感染リスクが低い、自閉で多動な子を連れていき、過ごす事ができる場所と、その情報が欲しかった。
気軽にPCR検査が受けられて、安心して子供と遊べる場所
休校中の放課後デイさんの預かりがあり、とても助かりました。無かったら子どもも私も辛くて耐えられなかったと思います。ありがとうございます。
休校中も、お休みなくデイサービスを受けられたこと本当に助かりました。
急に学校が休校になった直後、放デイがすぐに開所時間を調整していただけたのはありがたかったです。

緊急事態宣言下でも通常通り開所してくれたことが助かりました。(サービス業で緊急事態宣言が出ても仕事を休めなかった為)
緊急事態宣言中も放課後等デイサービスさんを利用することができ、本当に助かりました！
個別支援級の子のオンラインでの取り組みもあればよかった。
個別支援級は人数が少ないので、分散登校をさせて欲しかった。課題だけ出されても、家でやるのは不可能。
今回、緊急事態宣言で学校が休校になり、放課後デイもお休みや短縮になり、私のパートを辞めざるをえませんでした。こんな時に相談にのって頂ける所があれば、知りたかった。
在宅支援で教材を郵送して貰えた。
三か月ちかく、学校が休校で、新学年が始まるまでの1年間の復習や集団活動ができて大変助かりました。
三密になるからと、放課後デイは数ヶ月お休みしたが、学校再開一週間前から放課後デイに参加。学校も休校でずっとお友達にも会えず、寂しそうだったが、久しぶりに友達にも会えてとても嬉しかったようだ。
仕事だったので数日でも預かってもらえよかった
四肢体幹機能不全なので、自粛期間中は身体を動かさなかったため、筋力が低下した。週に1度の訪問マッサージさんに来て頂いて助かった。また、横浜療育医療センターも開けてくれていたので助かった。
子供が通っている、学校やデイの先生との定期的な電話などの近況報告、相談をしたかった。聞いてもらいたかった。長い休校期間中一度ぐらいしかなかった。
子供も預けられるところ
市民プールや運動施設などを人数制限を設けた上で使用させて欲しかった。
支援級は緊急受入をしてもらえたので慣らし保育的にゆっくりと学校に慣れる事ができたので大変助かりました。先生とも話す機会が持てたので良かったです。
児童デイサービスに変わらず通所できた事
児童支援事業所におけるオンライン面談や電話相談
児童支援事業所のオンライン授業、幼稚園が流してくれた家で出来る工作やダンス等のYouTube動画。
児童発達支援
児童発達支援の教室が、オンラインでレッスンしてくれて、良かったです。
児童発達支援の教室はお休みにならず助かりました。困りごとなど普段の子供の様子をよく知っている先生にすぐ相談できる場としてとても助かりました。
児童発達支援の先生に、子どもの癇癢について相談できたこと。
児童発達支援は基本やっていて、しかもオンラインかオフラインかも選べたところもあり助かりました。

<p>児童発達支援や医療機関が休みにならなただけで、コロナ禍の中で、障害だからと追加の支援は何も無かった。</p>
<p>児童発達支援事業所で、通所出来ない代わりに電話支援をしていただいた。困りごとがあればその都度相談できて助かった。</p>
<p>持病の喘息がある為放課後デイサービスの利用を控えました。オンラインで参加できるプログラムがあったらいいなと思いました。</p>
<p>自粛期間中人と接することが難しい中、温かなお声がけが心の支えになりました。</p>
<p>自粛後半、学校や放課後デイとzoomでつながり、一緒にダンスをしたり、歌ったりということがなんだかあり、子供の気分が上がりとてもよかったです。</p>
<p>自粛中でも、児童発達支援所と連絡がとれていたこと。</p>
<p>実家が遠く頼れるところもなく 夫も仕事で疲れていて 食料品などの買い出しに行くのが大変でした。こういう時でも子供を短時間でも預かってくれるところがあれば助かります。</p>
<p>症状別、重度別に分けた集まり会う場があれば嬉しいです。</p>
<p>障害のある子供が気を使わず遊べる場所の提供が欲しかった。休園中民間の発達支援事業所を利用出来たことはとてもありがたかった。もっと早く市のセンターから提案して欲しかった。</p>
<p>親が感染して隔離された時に子供を預かったり、世話をしてくれるなどの支援が必要と思います。</p>
<p>親が居なくても支援者の人と一日過ごす、などたくさんあれば良いなと思う。 そのお知らせとかを入手できるようにしてほしい。くさぶえに伺わないと、何も分からないので</p>
<p>親が居なくても支援者の人と一日過ごす、などたくさんあれば良いなと思う。 そのお知らせとかを入手できるようにしてほしい。くさぶえに伺わないと、何も分からないので</p>
<p>親の時間が全くなく、とにかく毎日大変でした。子供も飽きてしまい、不安定になったりして、1日のリズムも作りにくく、本当に本当に疲れ果てました。 子供を預かってくれたり、外遊びにだけでも連れて行ってもらえるような外出支援等あれば良かったと思います。</p>
<p>人と会えないことが辛かったです🥹いつも通っていた座談会が、ズームなどで会を開催してくれたらな、、、と強く思いました。開催も考えてくれたようですが、自粛中で、お子さんも家にいらっしゃるようなので、という理由で開催に至らず。試行錯誤しながら、失敗しながらでもやってほしかった、、、という気持ちでした。支援して下さる方々にばかり求めて申し訳ないのですが、自分で主催するほどの余裕がなかったのです。。わたしは、自ら色んな友達や知り合いに連絡をとっていましたが、全くとっていないお母さんのほうが多かったので、かなり心細かったかと。</p>
<p>人と接することが難しい中、温かなお声がけが心の支えになりました。</p>
<p>人数制限をして一時ケアで預かってくれた。</p>
<p>卒園前のクラスのママ友。同じ立場なので、困り事を話しやすかった。励ましあう感じ。 学校の先生から、お電話頂いて様子を聞いて頂けて良かった。</p>

他兄弟が休みの中、一人だけデイに行きたがらずに困りました。兄弟も一緒に参加できる単発のプログラムがあれば家で過ごす以外の時間が持てたのではないかなと思いました。（計2件）
誰も頼る人がいなくて、子供との毎日がしんどかったです。テレビは気晴らしにはならなくて、元気になるような明るい番組があったらよかったなあ。
担任の先生より、電話連絡があり、子供が先生と直接会話できたこと 幼稚園からは、YouTubeの配信があり、先生達と画面越しに触れ合いができたこと
短時間でも放課後デイサービスで過ごすことができ、親子共に気分転換できていた。
電話での相談
電話で支援、相談する事ができて良かった
電話で日々の様子を聞いてくれて精神的に安心した。
電話やメールでお話できました
日々の過ごし方など共有したり、アドバイスしてもらえたりしました。（計2件）
不安が高く母子分離が難しい子供を持つ親は子供と離れて息抜きするのが難しい。子供の不安に寄り添いつつ、親を助けて欲しい
普段通り支援があったのが助かりました。
物品配給、学校の緊急受け入れ
母子ともに気が滅入っているときに、ドライブに連れて行ってきて、気分転換ができた。
放デイがあったお陰で、買い物に行けました。留守番ができないし、一緒に連れて行けないので、本当に助かりました。
放デイが営業していたこと。
放課後デイ
放課後デイが利用できて助かった。
放課後等デイサービス （計20件）
放課後デイサービス 相談支援機関
放課後デイサービスが開所してくれていた事。
放課後デイサービスが預かってくれたので良かった。預かりがなかったら、本当に大変だったと思います
放課後デイサービスを使っていたので、利用できる日は利用した。

放課後デイのリモート療育や、電話相談。心強かったです。
放課後デイの先生方が尽力して下さり、我が家は就労を継続できました。(コロナでも夫婦ともに自宅待機ではありませんでした) 今後の万が一のことを考えると、くさぶえの短期入所でも自宅送迎対応の導入を、市として検討して頂きたいです。親の就労に対応できる時間、開所して下さる放課後デイはわずかです。 今後は、障害児のいる家庭でも医療的ケアが必要な児童の家庭でも、親の就労を当たり前両立できる環境の実現が望まれます。
放課後デイの通所は休止していたが、代わりに電話による支援を受けていました。 家で過ごすのに慣れてしまい、あまり外に出たがらなくなってしまったので、過ごし方についての相談に乗ってもらったり、課題をメールで送っていただいたり、子供と電話で直接話していただいて、やる気が出るような声掛けをしていただけるのがありがたかったです。(親が声を掛けるよりも、先生方に声を掛けていただいた方が、緊張感が出てやる気が出るので。) 運動やクイズ、工作などの動画をYouTubeで配信して下さった施設もあり、子供も楽しみにしていましたし、色々工夫して下さってありがたいなと思いました。(計2件)
放課後デイは休まずにいてもらえたおかげでお姉ちゃんとバランスよく相手をしてあげることができました。
放課後等デイサービスが普段通りのスケジュールでやってくれてたこと。
放課後等デイサービス事業所
民間児童発達支援はおやすみにならなかったのととてもたすかりました
友人達など横のつながり、デイサービス(週に1回でもいない日があるとかなり助かりました)、zoomでのデイサービス、ネットのプリント提供サイト
預かってもらえる事が何より助かった(計2件)
預かりの時間を長くしてくれたので仕事に行くことができた
幼稚園は休園だったのですが、週2日行っている児童発達支援事業所はやってくれていたの、助かりました。
両親が就労しているので、学校の緊急受け入れと放課後デイには本当に助かりました。
療育センターでのホール開放(予約制)(計2件)
療育施設が休みにならず開園してくれたこと
話を聞いてもらえるだけでも、気持ちが楽になった。(計2件)

## [8. 支援者・支援機関に希望すること]

⑦と同じですが、イレギュラーな開催になっていたりするので、その情報を、なるべく広めようとしてもらえたら、助かります。ズーム開催でも、実際開催(変更ありなど)でも、都筑区役所や、ポポラなどにもっともっと情報を置いてもらいたいです。いつになってもこどもの障害で悩みが無くなることはないですしコロナ渦で、更に不安もプラスされているので、こんな状況でも、同じ悩みをもつ親が助け合える、話し合える環境があると 日々頑張っていて、楽しく、子供に向き合えるようになると思うので。

SNSを活用して、家で遊びながらできる知育訓練や体力作りの方法など先生が発信してくださったりするとありがたいなと思いました

オンラインに変わるまで、教室に行くのに感染も心配だし、でもレッスン休むのもなあ、と思ってどうしたら良いのか迷う時期があったので、オンライン可能になるまでの時間が早かったら良かったなと思います。

お休みにならないよう、出来る限りの感染対策を行なって、事業を継続してもらいたい。  
1回1回の療育が大切な時期なので。多少の制限はありましたが、事業を継続して頂けている事、本当に有難いです。

コロナの影響で、キッズクラブの受け入れが今はできない為、下校時間からデイサービスお迎えまでの隙間時間を、家庭での送り迎え等でカバーしている状況です。そのため時間的負担が大きくなっています。学校自体も分散登校からの時短授業なので、スケジュール管理が難しいです。普段ではなかったスケジュールの問題や(予定変更や、イレギュラーなことが苦手な子供ということもあり)、それらの問題を相談できる機関が学校以外でもありたいと思います。

コロナの影響で、キッズクラブの受け入れが今はできない為、下校時間からデイサービスお迎えまでの隙間時間を、家庭での送り迎え等でカバーしている状況です。そのため時間的負担が大きくなっています。学校自体も分散登校からの時短授業なので、スケジュール管理が難しいです。普段ではなかったスケジュールの問題や(予定変更や、イレギュラーなことが苦手な子供ということもあり)、それらの問題を相談できる機関が学校以外でもありたいと思います。

コロナ禍で大変だと思いますが、通常と変わらない支援を希望します

こんなときだからこそ、新たなやり方を臆せず探して行ってほしい。特に公立学校は、県や市のルールがあり、学校独自では勝手に新しいことができないのかもしれないが、県や市を待っているのはスピードが遅くなります。

ステイホームで圧倒的運動不足なので、身体を動かせる企画や提案があれば。  
各支援機関にどこまで何を希望してよいやらもワカラナイので、逆にこんなコト出来ます、を例示、提示していただくと良い。  
また、自閉症で支援級在籍ですが障害者手帳を持っていないので、そうした児童にも面談の機会をいただきたい。

デイサービスがリモートになり、感染リスクを減らせた。今後もリモートを導入して欲しい。(計2件)

デイサービスが半日でも開所してくれる事。

できれば、半日でいいので、みてもらえるとありがたいです。

どのように消毒や感染対策がされているのかを利用者がわかるようにしてほしい。

ヘルパーさんと外出がしたいが、コロナで商業施設に行くこともリスクが高くて難しいですね。ずっと利用をお休みしています。安心してトイレや休憩出来る場所があると良いなと思いますが、なかなか行けなくなってしまいました。公共機関の施設でルールを守って予約制などで短い時間で良いので、歩いたり、休んだり出来るところが欲しいです。

みんなで集まって取り組むことができないので、個室や、課題の出し方など工夫が必要と思います。また放課後デイでは学校とは違い、かなり密になりがちなので、気をつけて欲しいです。感染予防にばらつきがあるのが不安です。コロナでお弁当の注文ができないデイのため、利用者側がお弁当の用意する負担を改善して欲しいです。なるべく学校の給食の期間を増やして欲しい。

もう少し話す時間があるとありがたいです。

もし、家族や本人が感染してしまった時、本人を安心して預けられる所があるのか等、情報が欲しい。

もし直接会うことができなくても、電話、メール、テレビ電話、情報の配信などリモートでできる支援はあると思うので、スタッフの人数により、難しい場合もあると思いますが、無理のない範囲でできる支援を考えていただけるとありがたいです。子供とずっと一緒にいると息が詰まるので、電話で愚痴を聞いていただけるだけでも息抜きになるし、家での過ごし方などについて、こんな方法があるよとか、他の方はこうされてるなどの情報をいただけるとありがたいです。

もっと障害児の親の声が届き随時それに伴い柔軟な対応が出来る様に頻りにアンケートや意見が伝わる機会がほしい。匿名で出せるこの様なアンケートはとてもありがたいです。名前を書く物は言いづらいので。市の療育センターはコロナのことを気にし過ぎて子供の事や親のことはあまり考えてくれていないと感じる日々でもう少し柔軟に対応して欲しいと思う。

もっと臨機応変に対応して欲しい。

リモートで児童発達支援の指導をしてもらえたら助かる。

ルーティーンが変わると不安定で癇癪を起こすようになります。場面が変わったり親以外の人との関わる際には少しコントロールが効くこともあるので、不安定な状況が続いたときに、相談できたり、レスパイトができる機関があるとありがたいです。

家での過ごし方を教えて欲しい。

過ごし方が一変したので、学校と福祉、生活全般をトータルで相談できるような支援体制が学歴期にも必要だと感じました。また、それは問題が生じてからではなく、普段から定期的な関わりがないとなかなか発信できないことも感じました。

学校が、もう少し柔軟に子供を預かってくれたらと思いました。

学校からの支援がほぼない状況でした。デイサービスは対応があるところとないところとでしたので、例えば買い物など必要なサポートはないか？という風に誰かが聞いてくれたらお願いしたかもな…と思います。

学校からの連絡が、子供の様子を気にかけてくれることが親も安心でした。支援機関とあまり繋がりが無いので、今後子供のことを知ってもらいたいと思いました。

<p>学校の先生方、放課後デイの先生方には普段は慌ただしくしてしまい、きちんとお礼を申し上げる機会が少ないので、この場を借りて、いつも子供たちを愛情深く見守って下さっていることへの感謝をお伝えしたいです。ありがとうございます。</p>
<p>学習面で自宅でも学童でも取り組める教材やテキストがあると良いと思います。</p>
<p>感染症なので色々仕方がないと思っています。</p>
<p>感染対策</p>
<p>感染対策をした上で、普段通りにしてほしい。こちらの日数を減らしたり、出来る限りの自粛はしましたが、普通が通用しない子供なので限界があります。子供は体力が余り眠れなくなったり、不機嫌になったり、親も介護疲れでイライラしながら接したりしていてギクシャクした。出来ていたことが出来なくなった。</p>
<p>感染予防の徹底</p>
<p>感染予防をできるだけ徹底していただきたいことと、支援機関でどのように感染対策をしているのかがわかると利用者も安心できると思います。</p>
<p>基盤としていた療育センターが現在も分散登園です。(9月中旬より通常療育の予定です) 感染対策というのは分かりますが、小学校や併用している幼稚園は通常に戻っています。 療育センターに通われているお子さんはイレギュラーが苦手なお子さんが多く安定して登園できずにストレスになっている家庭も多いです。 今も親の負担が大きいのでもう少し登園できる対応を考えて欲しいと痛感しています。</p>
<p>休校の対応が(日数等)県立と、私立の学校での対応の違いがあるのが、不公平を感じる なぜ、同じ横浜市民なのに、学校によって、支援教育に差が出るのか?統一してほしい。</p>
<p>休校期間中の様子を知って欲しかった。</p>
<p>休校中、放課後デイや家庭に丸投げではなく、居場所を提供し簡単な遊びやプログラムをして欲しいです。</p>
<p>居場所の確保をしてほしいです。</p>
<p>居場所の確保をしてほしいです。</p>
<p>教育格差のない学習環境を整備してほしい。</p>
<p>緊急に子供を預け入れできる支援があったらいいです。</p>
<p>訓練会の活動、せめて青空活動は許可してほしかった。施設利用に関して市に問い合わせをすると「市は訓練会への開放は許可している、あとは現場の判断」との回答なので、責任の所在を押し付けている印象を受けてしまった。判断が難しいのはわかりますが…そのへんは市のほうでもっとハッキリ指導してほしかった。</p>
<p>個別、具体的な支援をお願いします。(計2件)</p>

<p>公的支援や施設は緊急事態宣言後も活動条件が厳しく、できない理由ではなく、できるようにするには？の視点がほしいと思いました（民間と比較して。）</p> <p>例えば週5通園の人たちのことを考えると、民間の児童発達支援は追加できず、北療（通園）もほとんど機能せず、かつ障害の程度は重い子たちが多いことを考えると、親はかなり辛かったのではないかと思います。</p>
<p>高等部を卒業してからも利用できるデイサービスのような支援機関があると、親としても安心で助かります。</p>
<p>高等部卒業後の余暇支援が欲しい。（計2件）</p>
<p>今後もオンラインを活用していただけるとありがたいです。</p>
<p>今後も休校時に預かりをお願いしたいです。祝日なども対応いただけたらありがたいです。</p>
<p>困った時に助けてほしい。声をかけやすい空気を作っていてほしい。</p>
<p>困った時に連絡がつきやすいと嬉しいです</p>
<p>細々でも良いから療育を続けて欲しかった。自粛中積み重ねたものが0、マイナスになった感がとてもある。宣言が解除されて2ヶ月経っても充分に通えない状況は本当にどうにかして欲しい。</p>
<p>子どもたちの心の健康</p>
<p>子どもにとって日常と同じ、せめて長期休暇など今まで経験したタイムスケジュールでの生活</p>
<p>子供の成長は止まらないのに、突然置き去りになった不安感がありました。家での過ごし方の提案などがあれば、少しは親の負担が減ったかもしれません。</p>
<p>子供達がきちんと規則正しく通える場所が欲しいです。</p>
<p>支援級の先輩お母さん達に色々お話が聞ける機会があれば嬉しいです。</p>
<p>支援者さんが体調不良の時無理せず休める体制を整えてほしい。</p>
<p>支援者とはどのかたを言ってるのかがわかりません。</p>
<p>私自身にもしもの事があった場合、息子の事を、お世話おかけしますが、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>自粛期間中、障害の持った子供をもつ親は特に気を休める時間が無かったと思います。感染予防を考えると難しいですが、1時間でも通えて、預けられて、話を聞いて貰える場があったら助かると思いました。</p>
<p>受け入れてもらえる所があると思うことで、安心します。</p>
<p>障がい児限定の遊びの場を増やしてほしい。</p>
<p>情報を早めに流してほしい。</p>
<p>親が感染した時に子供を預る、又は世話をする等の支援を希望。</p>

<p>親の困りごとを親身になって聞いてくださったり、親の心の健康度を気にかけてくださる支援機関がもっと増える とよいと思いました。 また、障害を持つ子の親がお互いの悩みを共有できる機会があればよかったですと思いました。</p>
<p>親無しで余暇を過ごすイベント？など、企画してほしい。毎日子供と一緒にストレスで狂いそうだった。（計2 件）</p>
<p>人数制限があったとしても、兄弟児連れで遊べる場所があると嬉しかった。 体を動かす場所の確保ができず苦労しました。</p>
<p>対面しないやり取り</p>
<p>地活の受入を1ヶ月待ちや 1ヶ月前に予約とか1日しか利用出来ないとかやめて欲しい。 1日前でも予約を取れるシステム 人員を増やすとか柔軟な対応、改善が必要だと思う!!</p>
<p>昼食を挟んでの営業ができなくなり、午後からのお迎えになってしまったので、時間の拡大を希望します。（計2 件）</p>
<p>通級教室(荏田東第一小学校)指導の質を上げてほしい。未だに親にどうしたらいいか聞いてくる為。 一般級の子供達へ個性を重視する教育を、もっと進めてほしい。</p>
<p>適切な相談場所がもっとハッキリわかりやすくしてほしい。</p>
<p>徹底した感染予防</p>
<p>電話だけではなく、メールでも相談できればいいなと思います。</p>
<p>悩み事があれば、いつでも相談出来るという安心感だけで、親は楽になります。</p>
<p>非常事態宣言中など公的支援の周知をしてほしかった。</p>
<p>不安な気持ちを人に話すだけでも、随分楽になる。 気軽に相談出来たり、自宅でこんなことしてみたら？みたいなヒントも配信して頂けると、自粛期間中も親子で楽 しめると思います。</p>
<p>保護者とのやりとりで子供の様子を共有できるよう、自宅待機中でもこまめに連絡をとりたい。</p>
<p>放課後デイサービスの受け入れ人数を5人くらいにして、蜜をさけて活動してほしい。日によっては10人以上 になることもあり、安心して預けられる状態ではなかった。</p>
<p>放課後デイなどは休まないでほしい。</p>
<p>目先の予定が全てなくなり、親子でどうしたらよいか悩みました。こんな時はこんな方法や考え方で乗りきれば安 心的な発信が欲しかったです。</p>
<p>預かり時間の延長</p>
<p>両親が就労している障害児もいることを気にとめて欲しいです。</p>

療育センターは、卒園したので、相談しづらいし、学校は、まだ先生とほとんどお話してないので、相談しづらいし……。

療育センターや児童発達支援所に対してですが、リモートで行う個別やグループの活動/療育を早い段階で整えていただき、リモートの頻度も多く(集中力が続かない可能性があるので一回あたりの時間は短く)していただけたら、と感じています。

## [9. その他]

アンケートを実施していただきありがとうございます。

保護者同士の横の繋がりがなく、情報収集がしづらいので、都筑区やその周辺の保護者が悩みを相談したり、施設や学校などの情報を交換できるようなシステムがあれば良いと思います。(計2件)

いつも 障がいをもった生きている人たちのために ありがとうございます

いつも息子がお世話になっております。ありがとうございます。

いろんな所に相談したがあまり解決にはならなかった。

ウイルスは怖いですが、感染予防をすれば、休校や休園まで本当に必要あったのかと今は思います。家にいなければいけないことでの弊害が大きいと感じました。

オンライン化が進んでも、パソコンに向かう集中力がなく、オンライン指導メインになるのはどうしても難しい。定型発達児は、コロナにより学ぶ機会が減ってしまっても、どこかで挽回できる時期がくるが、障害児は学ぶ機会が減ったら減った分だけマイナスになってしまう気がするのが不安。

オンライン学習、学習プリントは保護者負担が多すぎるので、改善してほしい。(計2件)

このようなコロナ禍がなくても、心身共に、辛い毎日なので、一層、コロナになり死んでしまえたらよいのにと考えてます。

7月に夏風邪をひき、耳鼻科を受診した際、バイ菌扱いをされ、それでいて、PCR検査は、出来ないと言われました。医者も混乱しているのしょうけれど、我々庶民が生活しやすいよう、ルールを決めてほしい。

この場で希望していいことなのかわかりませんが、インフルエンザのワクチン接種を、マスクを(嫌がって)できない障害のある人や、疾患のある人とその家族に優先的に受けられるようにしてほしいです。

これから冬にかけてコロナが心配です。支えてくださるところがあると心強いと思います。このアンケートで胸の内を聞いてくださりありがとうございます。少しすっきりしました。

コロナ禍でも、放課後等デイサービスが営業していてくれて本当にありがたかった。

コロナ禍で不安な毎日だったけれど、それでも親が自主的に動いていかないと情報が入らないシステムが疲弊感を増長させていたように感じます。余裕があるときは動けていても目の前のことに対応するのが精一杯だったのでもう少し情報共有の機会を増やしてください。安心できるだけでも心にゆとりができます。

コロナ感染症にならないように、なって隔離や重症化も怖いので家から出ない期間が長くありましたが、休校もあり子供の不安も大きくなり、でもどうすることもできないという自粛期間でした。

もし家族が感染し、入院などで離れて暮らすことになった場合、特性があるばかりに困ることが多くなりそうで不安です。特性のある子向けの入院施設などがあると安心できるのですが。

もっと親と話す機会や回数を増やすと良いと思います。現場を知って、どんな支援が必要なのか考えてもらえるとう良いと思います。(計2件)

我が家は出来る限りの自粛で家に居ましたが、考えの違いから、周りには普段と変わらずデイに毎日通わせたり、公共機関を使ったり、何も変わらない生活をしている家庭も多くありました。その多くの言い分は、『家にいられても面倒みきれないから!』ということですが、殆どの家庭が自粛できる体制であるのならば、学校やデイは閉めて、ヘルパーみたいな形や訪問籍でその家庭へだけ人を派遣してはいかがでしょうか? 特別支援学校は、何故特別なのかを考えて決断してほしいです。

皆さんが初めての危機的状況に追い込まれ恐怖との戦いの中、とても疲弊しています。何一つ安心できる材料が無い事がストレスとなり、子供達の心のケアはこれから必須だと感じています。もし、親がコロナにかかったらこの子供達をどうしたらよいかとても悩みます。障害児家族が安心して子供達を見守ってくれる医療や支援期間との関係作りは必須だと考えます。どうかアンケートの1つの小さな声ではありますが、この不安を共有して頂けたらありがたいです。

外に出にくい世の中になってしまったので、(付き添いの家族単位でも動きにくくなった)外出の機会が減りストレスも最大でした(泣)車に乗ってドライブだけが唯一の発散になってしまい、明らかに運動不足で太ってしまいました。運動不足の解消手段がなかなか難しいです。あと、もしもコロナウイルスにかかってしまった場合、本人は1人では勿論何も出来ないの、医療機関との対応等、わからない事も多く、どこに相談すれば良いのだろうと心配することも沢山ありやや不安に思っています。

学校が休校になってデイサービスを利用する事も不安はありましたが短時間でも利用させてみて親子共々さほどストレスなくリズムを崩さず過ごせたので助かりました。

学校が距離的に遠すぎて、相談先としては身近な存在ではないと改めて感じた。

学校で、希望があれば預かりなどもありましたが、時間が短く、遠いので往復だけで時間がかかり、あまり使えませんでした。また、臨時休校中は、定期的に電話はいただきましたが、その他の対応はあまりなく、不安でした。もうすこし、学校から少しずつでも発信して欲しかったです。

学校の緊急預かりも対応する人や場所が分からず環境の変化が怖くて当初使えませんでした。環境の変化に弱い、どの程度なら変化しても乗り切れるか様子を見ながらの生活でした。学校が始まってからも、例年と異なることが多いため登校がうまくいか心配でした。

学校再開時、何故学校に行きなきゃいけないのか、この科目を勉強しなきゃいけないのは何故か等、返事に困る質問が増え、しんどかったです。宣言が出てた間は外に出ることもほとんどなく、運動不足で太ってしまったことも気になりました。

感覚過敏で本人はマスクができません。

これからの新しい生活様式でどこに行くにもマスクが必須になっており、出かける場所がかなり減ってしまいました。練習はしていますが今後もうすぐにマスクができるようになるとは思えずこれから先、色んなところに行くことができないのかと思うと辛いです。

小さな子どもは免除してもらえますが障害のある人達はなかなか許されません。小さな子供以外でもマスクができない子、大人がいることを色んな人達に知ってもらいたいです。マスクができないのには理由があることを知ってもらいたいです。少数派の意見なので、行政やみんなの目に止まる耳に入るどこかで取り上げてもらえたらと切に願います。どこに行くにもマスクが付けられないが入店、はいつて大丈夫か確認して行っている状況です。

期間中緊急受け入れを全く希望しなかったが、唯一したかった入学式、卒園式の日だけ学校もそうだからと受け入れして貰えなかった。元々在校生も参加する式であるならば、人手の問題もないし、同席出来ないならば教室で式の様子を見させたり出来る筈。臨機応変に対応して欲しかった。

気をつけてはいるが、どこで感染してもおかしくない状況で、家族の誰かが感染してしまった時に、学校や居宅支援、訪問入浴等多くの施設や人に影響を与えてしまうのがとても不安です。早く治療薬かワクチンが出来るのを願っています。

休校中、宣言中は自宅で穏やかに過ごせましたが、休校明けから非常に不安が強くなりました。現在は母親が付き添い、別室登校、遅刻早退をしながら通っています。

給食がなく食費がかさみ大変でした。

緊急事態宣言中は、感染が恐くて外に遊びに行くことも控えていたため、親も子どももストレスがたまり、発散できず、親も子どもとても疲れしました。毎日、食事のことを考え、うまく息抜きもできず、我が家は親など、近くに頼れる人がいないため、コロナにかかったらどうしようと考え、精神を壊しかけました。

結局、学校なんか、子供や保護者の気持ちなんて考えてくれてないので、頼りにはなりません。

健常児でも、なかなか大変な事だったかと思いますが、目に見えない物の説明がわからないので、困りました。今も、マスクの練習などしていますが、暑い中、イヤな事をする意味がわからないので、苦戦しながら、少しずつご褒美の為、『ポテトなど』本人も頑張ってます。遊びに行ける場所なども、なかなか、難しいので、理解して、受け入れて頂ける所があると嬉しいです。

今後、学校で感染者が出ても長い休校はやめてほしい。精神的に辛くてコロナでなくても病気になりそうです。

今後また、同じような事があったら親の悩みを聞いてもらえる所が必要だと思います。

喋れない、言葉もすんなり伝わらない子供と毎日毎日ずっと一緒に過ごす苦労はもう出来れば、しばらくはないほうが良いです。自殺も考えてしまう程疲弊しました。

涙も止まらず、何もさせてもらえず、買い物すら大変で本当に本当に辛かったです。

困りごとの相談等はできないが、放課後デイが開所してくれていたのも、とても助かった。もし放課後デイがなかったら、三か月の休校期間、親子共もたなかったと思う。

仕事と介護と育児と家事、自分の体調不良で毎日悩んでいる。もう疲れた。

<p>子供が感染した場合は私(親)が頑張る、ただ私が感染した場合は子供の命を諦めなければいけない程の大事である、今ある支援は障害児本人が前提なのでその場合はどう支援してもらえるのか、はっきりとしたシミュレーションを考えて欲しい。</p>
<p>子供が感染した場合は私(親)が頑張る、ただ私が感染した場合は子供の命を諦めなければいけない程の大事である、今ある支援は障害児本人が前提なのでその場合はどう支援してもらえるのか、はっきりとしたシミュレーションを考えて欲しい。</p>
<p>支援学校も、リモート授業が出来るといいと思います。(計2件)</p>
<p>自閉症児の特性で困りごとなど相談できる所や、自閉症児を持つ親のメンタルを聞いてくれる無料の施設があるなら知りたい。</p>
<p>障害の子のいる家庭だけでは無いですが、収入減は大変厳しいです。</p>
<p>障害児は継続が大事という事を関わる方々にわかって欲しい。</p>
<p>障害者手帳を持つ人と、持たないけれど支援級に属したり困り事を抱えている人と、区別した支援策をご検討いただきたい。持たない組は支援事業に対してどこまで頼ってよいか迷っている。支援級在籍家庭に対し定期的の様子をヒアリングしていただくとかすると相談しやすい。きっかけが欲しい。</p>
<p>色々希望はありますが、横浜市は自閉症スペクトラム症候群やADHDの子供達への支援が手厚いのでありがたく感謝しています。</p>
<p>親が感染したら子供は学校に行けるのか、又、親が入院したら子供はどうなるのかがとても心配です。</p>
<p>親が感染した場合、子どもが感染した場合の治療場所や方法、子どもと隔離する必要がある場合のサポートなどがあれば知りたいです。また、行政や地域で独自に行なっているサポート/サービスがあれば知りたいです。</p>
<p>親の気持ちに寄り添った支援をお願いします。毎日辛いです(計2件)</p>
<p>放デイの空きなし。支援級在籍だからこそ居場所の確保をしてほしい。仕事は休めないのに預け先がなくかなり困りました。小学校の卒業式が終わったため学校から預かれないと断られた。キッズは31日まで受け入れてくれました。中1になったばかりで、学校にも慣れていない環境、さらには預かり時間が短く困りました。環境の変化に敏感なのに、それを理解した対応だとは思えません。(計2件)</p>
<p>放課後デイサービスが通常通りあった事で規則正しい生活ができ、大きく乱れる事なく過ごすことが出来ました。</p>
<p>放課後デイサービスも利用していないために休校中に会わなさすぎたせいか、子どもがどこへ行くにもストレスが強く感じるようになってしまいました。(公園や街中で泣く、お店に入るのに時間がかかるなど)家庭以外にもう1つ、どこか子どもが安心できる居場所があるといいなあと思いました。(保護者にとっても、スタッフさんと話すことでストレス発散になると思います。)</p>

放課後デイには、予定外の長期休業にも迅速に対応して頂き、先生方には本当に感謝します。ありがとうございました。

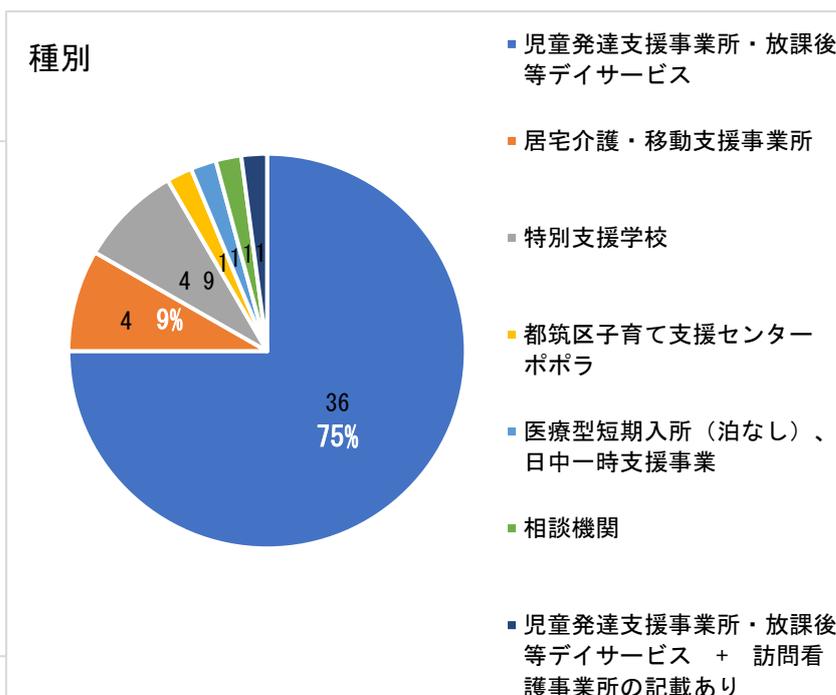
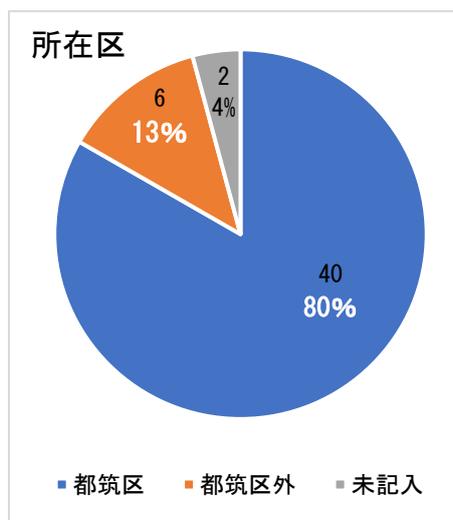
横浜市立学校は、低学年や障害児に考慮された学校運営だったのにも関わらず、県立は家庭のことを何も考えず、保身で完全閉校となり県の教育委員会に対し、憤りを感じます。

スクールバスのコースもあり、学校は選べません。先生方のご努力で開放がありましたが、数時間。働いている親は、もちろん対応不可能です。県教育委員会の愚策に対し、抗議したいです。

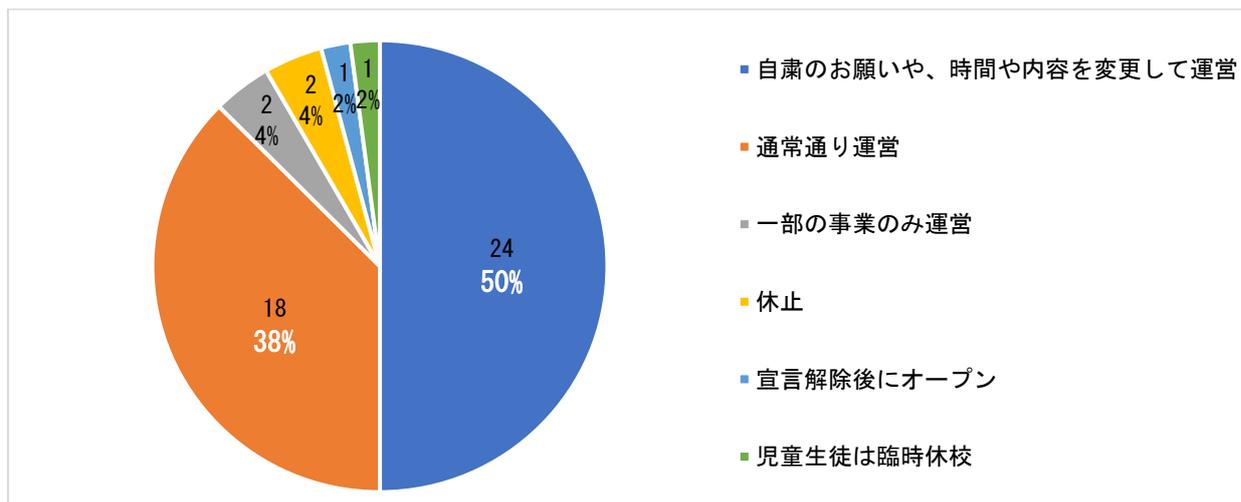
両親ともに就労していたが、小学校の個別級は緊急受け入れがあり利用できて良かった。しかし緊急受け入れのため午前授業だったり短縮スケジュールのために、下校から放課後等デイサービスまでに空き時間が生じる日があり、結果的に祖父母に頼ることになってしまった。(感染症の性質上本当は高齢の祖父母に頼りたくなかった)。見通しが立たない予定に心配になる子供の様子だったが、テレワークや多めの休暇取得により、綱渡りでなんとか過ごす事ができた。学校や放課後等デイサービス、祖父母や職場の理解により色々な場所で過ごすことができた子供は少したくましくなった気がする。

## ◇事業所向けアンケート

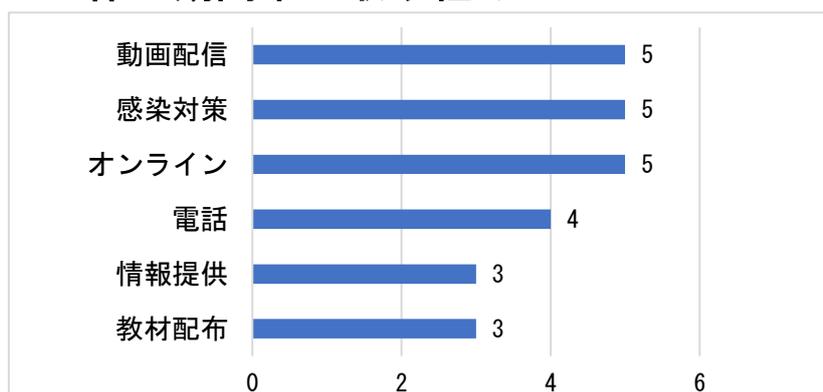
### 1. 所在区と種別



### 2. 緊急事態宣言下の活動



### 3. 休止期間中の取り組み

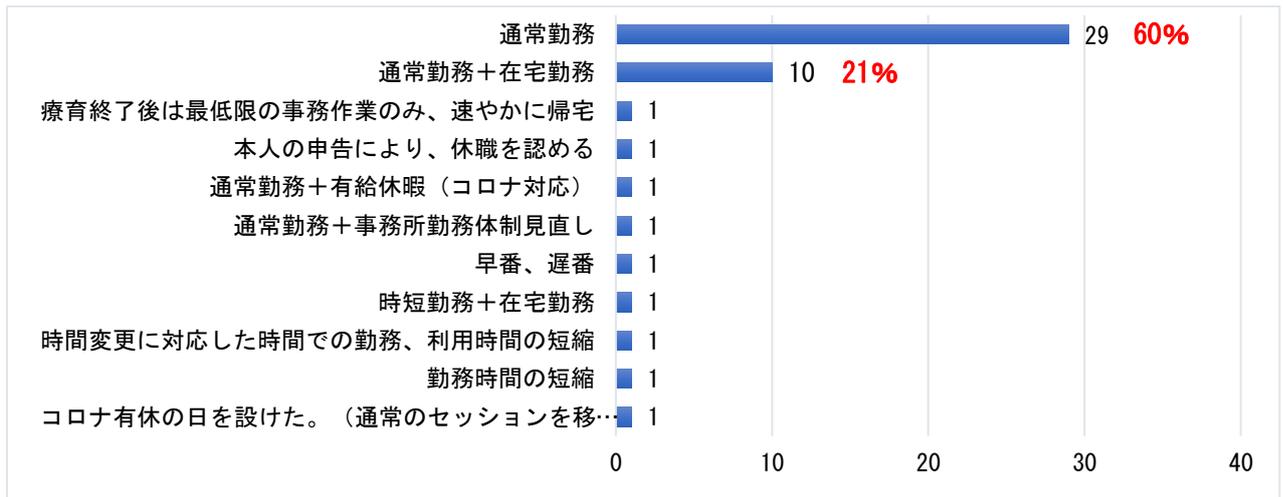


・自由記述有効回答数 19件

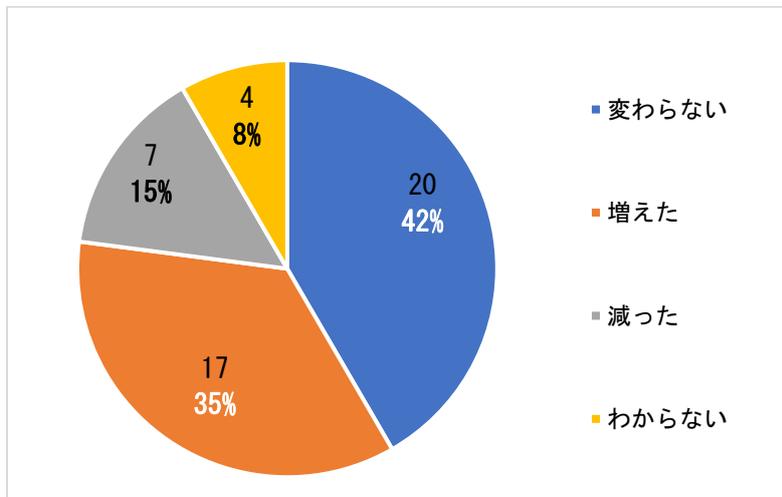
#### 【その他】

- ・「居場所」の設置
- ・特別なプロジェクト開催
- ・「コロナウイルスとは何か」についてスライドを用いて説明
- ・再開時の対応についての検討

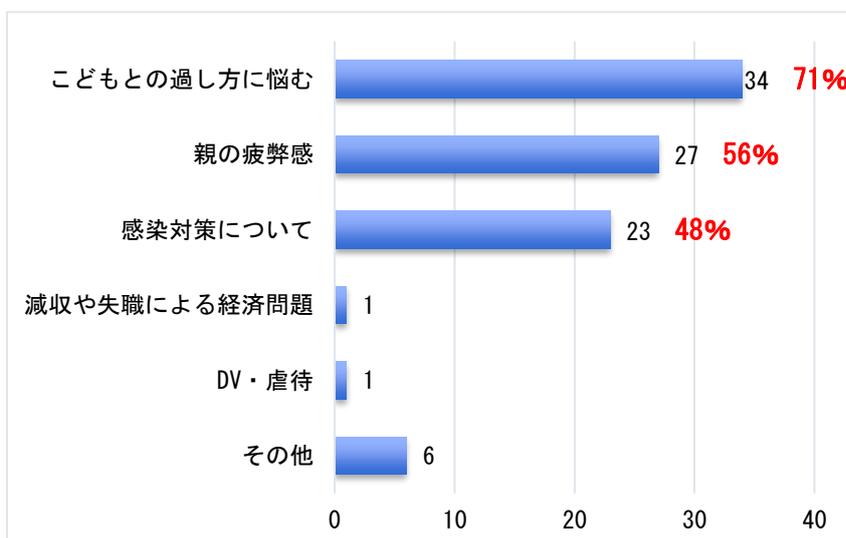
## 4. 職員の出勤体制



## 5. 相談件数の変化



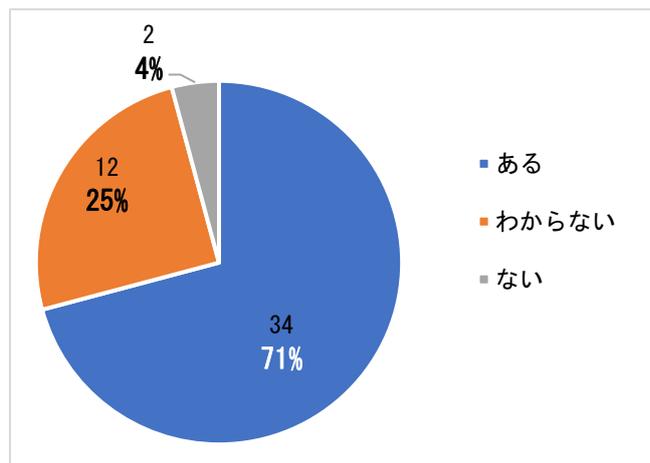
## 6. 本人や家族からの相談内容



### 【その他】

- ・お休みの日など行き場がなくなった
- ・マスクがつけられない
- ・お子様の成長発達について
- ・生活リズム
- ・学習方法
- ・自粛による支援(学習)の滞りについて
- ・デイ利用の不安、事業所の対応について
- ・家族、および、本人のコロナ以外の症状がでた場合のキャンセル依頼

## 7. 家族の孤立を防ぐためにできることはあるか また、支援の具体的な成果、検討していること

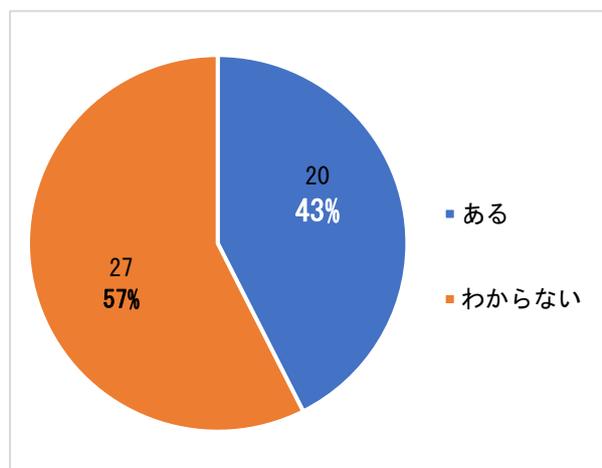


・自由記述有効回答数 34件

### 【主な回答内容】

- ・オンラインによる支援
- ・相談、連絡などへつなげるための関係づくり
- ・レスパイトケア
- ・家庭訪問
- ・緊急受け入れ

## 8. 家族を孤立させない為に、他機関と連携することでできることがあるか また、どんな連携ができるか



・自由記述有効回答数 19件

### 【主な回答内容】

- ・本人の利用事業所同士
- ・保健所・学校・園・区役所と連携し正確な情報の発信
- ・地域の相談窓口を集約し情報発信
- ・学校との情報共有
- ・オンラインを使用した情報発信 など

## 9. 現在の感染対策について

・有効回答数 44件

### 【主な回答内容】

マスク着用、手洗いうがい、検温、施設の換気、消毒などの回答が多数

### 【その他】

- ・人数制限、調理などのプログラム中止
- ・座る位置の見える化（ソーシャルディスタンスへの出来る限りの配慮
- ・コロナウイルスとはどういうものかについて子どもたちにスライドを用いて教える
- ・教材の共有を避けるために持参を依頼
- ・食事や会話時の配慮

## 10. まとめ

- ・ 緊急事態宣言下では、約9割の事業所が支援を継続していた。また、その際にはオンラインでの支援や、動画や教材の配信・配付を行い、自粛生活を送る家庭へ向けた在宅支援が行なわれた。出勤体制も約6割の事業所が通常通りであったが、その他の事業所ではそれぞれ状況に応じて出退勤時間の変更や、休暇の取得などの対応をしながら運営していた。
- ・ 保護者からの相談実態は、「変わらない」もしくは「増えた」事業所が多く、「こどもとの過ごし方」についての相談が7割であった。
- ・ これからの支援、機関連携については、相談支援の重要性や日頃からの利用者や保護者との関係づくり、情報の発信、オンラインの活用など、コロナ禍で模索しながら行ってきた支援経験を踏まえた意見が出された。

## ◇事業所向けアンケート自由記述一覧

### [3. 休止期間中に、取り組んでいたこと]

「居場所」の設置、動画の配信、オンライン授業、定期的に家庭へ架電
「今だからできることプロジェクト」 ・都筑区内のものづくり企業「メイドインつづき」と一緒に手作りマスク製作  ・乳幼児健診未受診方へのメッセージカードを送付 4ヶ月健診未受診者 約300名 1.6歳健診未受診者 約390名 3歳健診未受診者 約440名  ・「ちいさなしあわせのタネおすそわけプロジェクト」 ポポラ利用者への往復ハガキの送付 過去3年間の新規登録者 (2800世帯) 外国籍の方には「やさしい日本語と英語」で封書と返信ハガキ送付 (76世帯)  ・「おうちで工作！」 家での時間を楽しめるように、簡単に作れる工作シリーズをホームページで お知らせ
zoomによる在宅支援
ウォーキング(体力作り)、「コロナウイルスとは何か」についてスライドを用いて説明、ボードゲームの購入、イベントの中止(集客を目的としないため)等
オンラインでの療育、相談
オンラインでの療育支援、電話相談支援、自宅で出来る運動や遊びの紹介動画配信等
オンラインによる職員研修、教材づくり等
とにかく手洗い消毒
プリントの配布や動画阪神などによる学習保障、情報提供 子どもたちの生活状況等の把握、確認
リモート支援
感染対策の徹底
換気、マスク、手指消毒、鉛筆等を持参 等
休止はしていないが、利用を自粛している方は自宅からZoomで参加できるようにした。また、公式LINEアカウントを作り、家でもできる運動等の動画を作成・配信した。
緊急時の受け入れの実施、各家庭への定期的な連絡、学習課題の定期的な郵送等、ホームページの充実

再開時の対応についての検討
週1回の電話連絡、宿題を出す、ホームページにて教材の紹介など
乗車前検温、手指消毒、換気、使用物、車内室内消毒etc. 可能な児童マスク使用スタッフはマスク必須
動画配信サービスで運営していました。
利用児、スタッフの検温、保護者様の室外待機、電話支援、マスク着用、配布

## [7. 支援の具体的な成果や、できたこと、今検討していること]

SNSを活用したやりとりをすることで、タイムリーに現状を把握し、対応策の提案ができる。また、顔を合わせた方が良い場合は、ズームを繋いで話を聞いたり、困りごとに対しての作戦会議をしたりしている。
zoomなどオンラインでの面談を実施。ネット環境が整っていない家族へは事業所にきていただき、PCを貸し出し別室にて面談を実施。
zoomや電話による相談支援
いつもどおりの安心できる場を提供すること 顔を合わせ、相談できる関係作りをしていくこと
こまめな連絡
こまめに連絡を取る。利用がない場合でもこちらから連絡し状況を把握する。リモート支援も行った。
ご本人やご家族に向けて、様子伺いの電話をかけさせていただく。
ズームによる懇談会の実施、子育てに対しての相談対応
どこからも支援を受けずに頑張ろうとする保護者が出ないよう、定期的な声掛けやヒアリング、他事業所・他機関との情報交換を行う。
リモート支援を保護者同伴のもと行ったので状況の共有がスムーズに行えた。
レスパイトケア
可能であれば家庭訪問、電話（オンライン）など家庭内の支援と一緒に取り組む。
家庭訪問を入れて子供と親の関係づくりのお手伝いをしています。具体的には暴れた時の対応方法など、実践しました。今後は実践したものを親のできるようにセッションしていきます。
各家庭への定期的な連絡、登校再開後1か月ホットライン（電話）の開設、状況に応じて他機関と連携
休校の期間に定期的に各家庭への連絡、家庭で過ごせないときに「居場所」の提供を行った。
休校中の緊急受け入れ、電話相談、機関連携

教材送付の際に、お手紙を同封し、様子を伺う。
緊急時の受入の実施、担任による家庭への電話連絡、オンラインの整備を検討
欠席をしているご家庭にも定期的に電話、保護者との面談
現在の状況を聞き相談にのる。
事業所・相談員等関係機関の連携ができていることをご家族様に常日頃から熟知していただくことで、非常時にも安心感を得られる取り組みにつながると考えます。よって、ご家族様との連絡連携を常に保つことが必要かと思われれます。
自粛している方にはオンラインで支援を継続し、オンラインに参加しない方にもご自宅へ教材をお届けに伺い、顔を見るようにしていました。
常設して場があることで身近な相談窓口としての安心感を感じてもらえる。 足を運べない方へは、電話相談 ホームページ、Twitter等で情報発信
送迎時の対話時間を増やし、相談を気軽にさせていただける体制であることを伝えた。
通常通りの運営
電話などの連絡、代替支援教材の郵送、スクール内の抗菌工事
電話やMAIL等での相談支援
保護者との相談連絡、連携
聞き取り
保護者の相談にのる。
保護者支援
訪問支援や相談の機会を増やしたい。
利用をしていないご家庭とも連絡を取ることに
利用を自粛していた児童の保護者には定期的に連絡をとる。

## [9. どのような連携ができるか]

⑦でもお答えしましたとおり、相談員等との常日頃からの連絡

zoomで担任の先生と親御さんと三者を繋ぎ、それぞれの立場でできることを提案しあったり、計画したりした。

オンラインを含めて、情報交換の場を作る。

お子さんを取り巻く環境について学校や事業所と情報共有し、支援の方向性などを確認している。
リモートでのイベント企画や講演会等
家族支援のための地域連携
学校
学校との情報共有、今後の支援について1週間に2, 3回学校の先生（担任・コーディネーター）と電話でやり取りしています。
居宅サービスや放デイさんとの情報共有
実際に関係者やご家族等に感染の広がりが出たときに、再開時の取り組みを連携していただけると助かります。
相談機関・他事業所等との連絡
他の事業所への通所状況なども共有し、完全な孤立を防ぐ取り組みが必要と感じています。
他機関、家庭と蜜に情報共有を行っている。
地域の相談窓口を集約し情報発信を行った。
電話などによる情報交換
配慮が必要であると思われる家庭について関係機関との情報の共有を行い、必要に応じてスムーズに連携が取れるようにしておく。
保健所・学校・園・区役所と連携し正確な情報の発信
本人のご利用している事業所と情報共有する。
連携

## 【10. 現在の感染対策について】

来所持の手洗いうがい、消毒、空調管理等
面談前後における消毒の徹底や、感染予防のための環境設定に努めている。
毎回の検温 マスクの着用お願い 手指の消毒 外出お出かけの自粛
発熱者の見極め、ケア時の対応、手洗い・マスク・ゴーグル エアロゾール 発熱者には必ずガウン着+フェイスシールド 事前説明死取
徹底消毒、検温、都度除菌、マスク着用
体温測定、手指を石けんで洗う、マスク着用（必要であればフェイスガード）三蜜を避けるスペース確保、使用教材の消毒、抗菌工事

体温、手洗いうがいの徹底
送迎車・室内等のアルコール消毒、スタッフのマスク着用、窓を開けて常時換気
職員の体調管理の徹底／職員および施設利用者の検温、手洗い、うがい／施設や送迎車の消毒／職員のマスク着用／施設の常時換気 等
乗車前検温、手指消毒、換気、使用物、車内室内消毒etc. 可能な児童マスク使用スタッフはマスク必須
消毒、手洗い、検温の徹底
消毒
受け入れ前の検温・定期的な消毒と換気、ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用等、緊急事態宣言中と同じ
手洗いの消毒、来所までの換気
手洗い、消毒、施設の消毒
手洗い、うがいの徹底・用具や施設の消毒、洗浄・マスク（職員のみ義務化）、送迎前の検温、換気
手洗い、うがいの徹底、利用者・職員の検温、事業所内の換気、マスクの着用、事業所内の除菌、食事の際に対面で座らないようにする、食事中おしゃべりをしない、コロナウイルスとはどういうものかについて子どもたちにスライドを用いて教える、体調が良くない場合の欠席お願い等
手洗い、うがい、消毒の徹底、換気、座る位置の見える化（ソーシャルディスタンスへの出来る限りの配慮）、検温の義務化
手洗い、うがい、検温、マスク着用
手指の消毒、換気、食事では向かい合わせに座らない、面談は電話対応またはパーティションを使用しての実施、マスク着用など。
室内の換気、消毒。マスクの着用。手洗いうがいの徹底。
室内でのマスク着用、入室時の手洗い・検温、机やいすのアルコール消毒、会話時のシールド設置、常時換気、スタッフのフェイスシールド着用、遊びやおやつ提供の制限、電話での保護者面談、外出が難しい利用者のオンライン対応
時差通学、短縮授業の実施、換気、密の回避等の環境整備、施設利用後の消毒、手洗い咳エチケット、ディスタンス等、新しい生活様式に沿った子どもたちへの指導支援等。
児童や職員の手洗い・消毒・検温の徹底、マスク着用。室内や車内の換気、消毒を頻回に行っている。職員、児童の食事場面での密を避ける工夫をしている。
行政指導を徹底すること。職員の意識向上を常に持ち、双方に感染の疑いがあるときでも冷静に判断ができるようにマニュアル化していること。
検温、消毒、環境、運動時以外のマスク着用

検温、手洗い、事業所内の消毒、次亜塩素酸空気清浄機、マスク
検温、手洗い、マスク着用、ソーシャルディスタンス、消毒、教材の共用を避けるために持参してもらう、一度に集まる人数の調整等
換気、マスク着用、手指消毒、手洗い、うがい、鉛筆等の持参、距離を取る、おもちゃ等の消毒、料理の療育を行わない。
椅子やテーブルの消毒（出勤時と掃除の2回）職員・こどもは検温をしている。
マスク着用、定期的な消毒、手洗いうがいをしています。消毒は朝昼晩に1回、送迎車を使った後に1回消毒しています。
マスク着用、消毒、密をさける、来校者の人数制限、検温、フェイスシールド
マスク着用、アルコール消毒、換気、利用者以外の訪問客に名簿記入の協力
マスクの着用、手洗い手指消毒、発熱等入場制限、着席、設備消毒
マスクと消毒液の配布、事務所勤務の人数制限、
マスク、手洗い、うがい、検温、消毒作業、部屋を分けての活動、人の集まるイベントの中止
ガイドラインや行政の方針に基づいた対策
アルコール消毒や活動空間の喚起を行っている。
アルコール消毒、手洗いの徹底、換気、密を避ける、健康観察の徹底、夕方の延長の見合わせ、外出・手作りの中止
アルコール消毒 マスク着用 検温 ソーシャルディスタンス確保
アルコール・次亜塩酸でのコマメな消毒
30分ごとに音を流して換気を促す、児童生徒下校後清掃消毒の時間を設ける、来客者の検温とアルコール消毒、こまめな手洗い、マスクの着用、場面によってはフェイスシールドも着用
<ul style="list-style-type: none"> <li>・使った物や場所は次亜塩素酸で消毒</li> <li>・活動終わりには児童、職員がアルコール消毒</li> <li>・マスクができる児童にはマスク着用の促し</li> <li>・来所時の検温</li> <li>・身体に触れるプログラムは避ける。</li> <li>・お菓子作りなどの自粛</li> </ul>
<p>「施設」 利用人数の制限 2時間おきに消毒</p> <p>「利用者」 検温 手洗い マスク着用</p> <p>「スタッフ」 検温 手洗い マスク着用</p>